令和０７年度環境報告書

近　江　鍛　工　株　式　会　社

ごあいさつ

当社のリング鍛造技術はその精度と品質の両面において高い評価をうけ、新幹線の車軸用軸受部品の鍛造で 7 割以上のシェアーを占めています。サイズ別では、世界最大級のリングが鍛造できるローリングミルにより、造船、建機、一般産業機械に無くてはならない大型リングの鍛造を行う一方、量産品では全自動のローリングラインと産業用ロボットの活用により、品質の向上と低コスト化をはかるとともに熱処理、仕上げ加工のラインと後加工のデータの蓄積により、品質の向上と安定を追求してまいりました。

また、環境保護の面では地元で生まれ、地元とともに成長してきた企業として、地元とともに発展できるよう環境保全には万全の態勢をとってまいりました。

今後においても引続き、法令の遵守は勿論、大津市との環境保全協定の完全実施にむけて、一層の努力をする所存です。

社　　長

《環境基本理念》

環境優先の理念をもって、自然環境と社会と人に優しい事業活動と環境作りに努め、環境保全の充実による豊かな企業目指します。

《環境方針》

当社は､ローリング鍛造を基本に熱処理及び機械加工の一貫加工をする企業として､その事業活動の中で地球環境への負担を低減し、地球環境保全に貢献します。

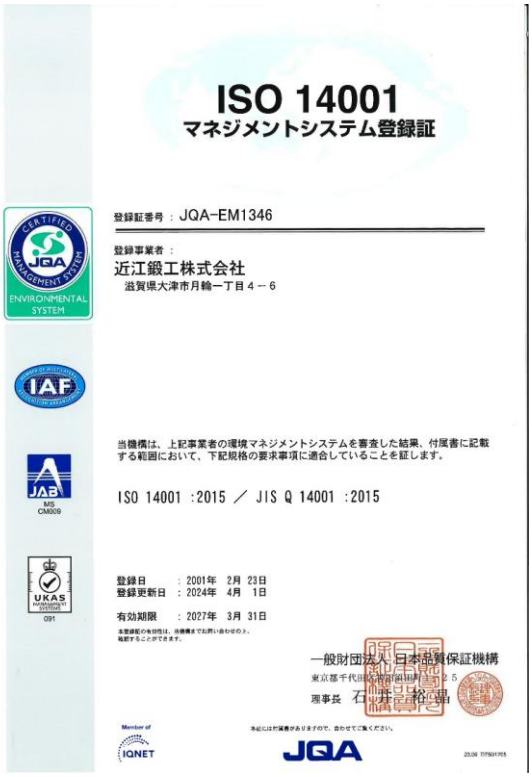
① 環境方針を達成の為、環境目的・目標を定め、内部監査・マネジメントレビューで見直しを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。

② 環境関連の法令、条例及びその他要求事項等を順守し、環境の保全・汚染の防止に努めます。

③ 生産性向上・品質向上・技術力向上・安全性向上・サービス向上などの本来業務の改善により、省資源・省エネルギー・廃棄物の削減などに取り組みます。

④ 環境方針は全従業員に周知徹底するとともに、ホームページ等で一般にも開示します。

2023 年 1 月 25 日
近江鍛工株式会社
代表取締役社長　坂口　康嗣



ISO 14001
マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-EM1346

登録事業者：
近江鍛工株式会社
滋賀県大津市月輪一丁目４－６

当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 14001 :2015 ／ JIS Q 14001 :2015

登録日　：2001年 2月 23日
登録更新日：2024年 4月 1日
有効期限　：2027年 3月 31日

一般財団法人 日本品質保証機構
理事長 石井 裕晶

ISO 14001
付属書

登録証番号：JQA-EM1346　1 / 1

登録事業者：
近江鍛工株式会社

登録活動範囲：
ローリング鍛造品、型打鍛造品、フリー鍛造品及びこれらの機械加工品及び熱処理加工品の製造

関連事業所：[活動範囲：同上]
・本社工場
滋賀県大津市月輪一丁目４－６
・信楽工場
滋賀県甲賀市信楽町黄瀬１３８
・長崎工場
長崎県松浦市御厨町横久保免字天久保２番１号

登録日　：2001年 2月 23日
登録更新日：2024年 4月 1日
有効期限　：2027年 3月 31日

一般財団法人 日本品質保証機構
理事長 石井 裕晶

Ⅰ．会社の概要

《会社概要》
社　名：近江鍛工株式会社
設　立：昭和 31 年 10 月
資本金：9,945　万円
本　社：滋賀県大津市月輪 1 丁目 4 番 6 号
代表者：代表取締役　坂口　康嗣

《事業の概要》
事業所の現況：本社、本社工場
信楽工場
長崎工場
ﾛｽｱﾝｾﾞﾙｽ営業所
製造品目：鉄鋼鍛工品

Ⅱ．環境保全の歩み

１９７７年　大津市と公害防止協定締結
１９８１年　廃棄物収集処理の業者委託開始
１９９７年　社団法人滋賀県環境保全協会入会
１９９９年　環境マネジメント・システム構築に向けキックオフ
２０００年　近江鍛工環境方針制定
　　滋賀グリーン購入ネットワーク入会
２００１年　ＩＳＯ１４００１　認証取得（認証機関：ＪＱＡ）
　　認証番号：ＪＱＡ－ＥＭ１３４６
　　大津市と環境保全協定締結
　　滋賀工業会・環境ＩＳＯ研究会開催（２５社参加）
２００２年　大気環境負荷低減計画策定
２００３年　美しい湖国をつくる会の県下一斉清掃運動に協賛・参加
　　廃棄物再生利用等情報制度（滋賀県環境事業公社）の活用
　　事務所内に喫煙コーナー（分煙機導入）設置、コーナー以外では事務所内の喫煙全面禁止
２００４年　関西エコオフィス宣言　「滋賀チャレンジオフィス」に賛同、取り組む。　高性能工業炉化省エネルギー事業に取り組む。
２０１５年　本社・長崎工場の電灯をＬＥＤ化。
２０１８年　信楽工場の電灯をＬＥＤ化。
２０２０年　SDG s の事業認定を受ける。
２０２３年　会計システム更改時にクラウド化を行う。
２０２４年　生産管理システム更改時にクラウド化を行う。

Ⅲ．環境保全の自己チェック

当社は環境保全を全社員一丸となって実施するために、以下の通り「環境保全の自己チェック」項目を作成しその実行に努力しています。

《環境保全の自己チェック》

1. 環境方針をよく読んで環境理念に沿った行動が出来るようにしましょう。
2. あなたの部門の環境目的・目標が分かりますか。
3. あなたは省資源にどのような事をしていますか。
4. あなたは廃棄物の削減・汚染の予防に何を実施していますか。
5. あなたは廃棄物の分類や置き場がよく分っていますか。
6. 職場のルールや手順を守らなかった場合環境にどのような影響を与えますか。
7. 緊急事態が発生した時、どうしたらよいか分っていますか。

Ⅳ．令和 07 年度環境保全活動

令和 07 年度は、本社工場（大津市）の環境目的・目標を下記の通り定め、取り組みました。

【令和 07 年度環境目標及び結果】

環境目標	目標値	結　果	評価
1.騒音・振動の規制	規制値内にキープ	測定結果後記	○
2.LNG 使用削減	87.5　kg/ton 以下	92　kg/ton	×
3.電力消費の削減	311.7 kw/ton 以下	351.6 kw/ton	×
4.油圧油の使用量	0.73　ℓ /ton 以下	1.21　ℓ /ton	×
5.緊急事態対策	ガス漏れ・油流出の防止及び対応	油関係教育実施	○

Ｖ．環境会計報告

環境省のガイドラインを参考にして作成しています。

単位：千円

環　境　保　全　コ　ス　ト				
分　類		主な取組内容	投資額	費用額
(1)事業エリア内コスト	①公害防止	煤煙、排水、騒音、振動等測定費用		1,459
	②地球環境保全	より効率の良い炉に修理、改造、新設	19,500	80,136
	③資源循環	板ﾊﾟﾚｯﾄ修理、古紙･煉瓦、廃油等処理		8,012
(2)上･下流コスト		グリーン購入ネットワーク会費		10
(3)管理活動コスト		ISO審査、登録維持費、社員教育費		1,895
(4)研究開発コスト				
(5)社会活動コスト		保全協会等会費		111
(6)環境損傷対応コスト				
コ　ス　ト　計			19,500	91,623

環境保全対策に伴う経済効果		
内　容		金　額
(1)有価物売却益	作業屑売却	219,221,178
(2)廃棄物削減取組効果		
効　果　計		219,221,178

【環境関連項目測定結果】

１．　排水測定結果

測定日：2026 年 06 月 12 日

測定場所：工場排水

項　目	単　位	法令基準	測　定　値	評価
水素イオン濃度（ｐＨ）	pH	6.0～8.5	7.9(21.1℃)	○
生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）	mg／Ｌ	70	1.0 以下	○
化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	mg／Ｌ	70	8.1	○
浮遊物質（ＳＳ）	mg／Ｌ	90	1.0 以下	○
ｎ－ヘキサン抽出物質（油分）	mg／Ｌ	5	0.5 以下	○

２．排ガス測定結果

測定日：2026 年 06 月 12 日

測定場所：Ｒ－1　5000Φ　回転炉　出口

項　目	単　位	法令基準	測　定　値	評価
煤塵（ダスト）	g／m^3	0.20	0.01 以下	○
硫黄酸化物（ＳＯｘ）	m^3／h	0.58	0.016 以下	○
窒素酸化物（ＮＯｘ）	volppm	140	63	○

測定日：2026 年 06 月 12 日
測定場所：R－16　加熱炉

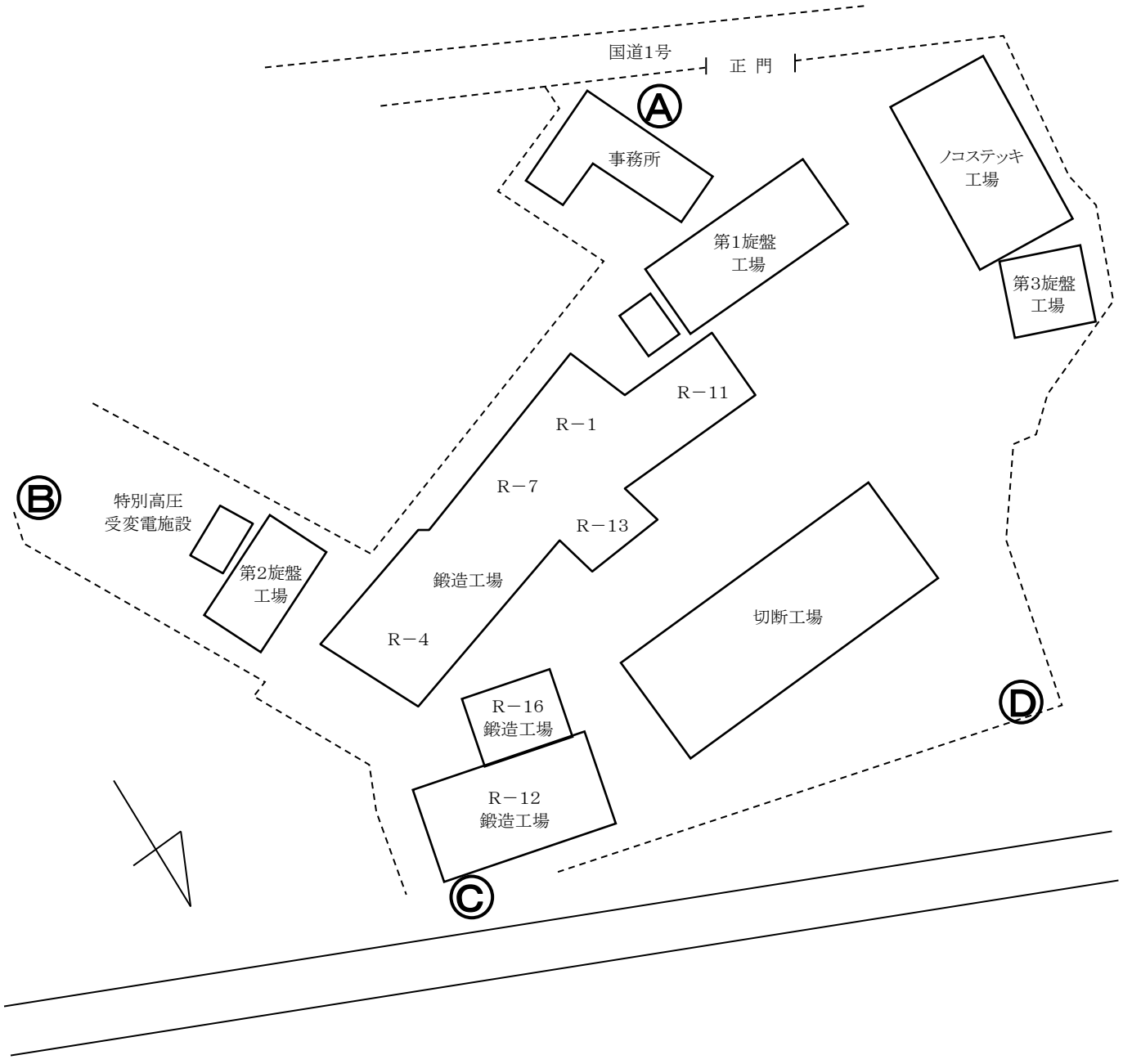
項　　目	単　位	法令基準	測　定　値	評価
煤塵（ダスト）	g／m^3	0.20	0.01 以下	○
硫黄酸化物（ＳＯｘ）	m^3／h	0.32	0.008 以下	○
窒素酸化物（ＮＯｘ）	volppm	140	83	○

3.騒音測定結果
測定日：2026 年 06 月 12 日
測定場所：敷地内 4 箇所　測定者：近畿分析センター

地点	測定時刻	基準値（ｄB）	測定値（dB）	評価
A	朝　（7：00）	64	53	○
	昼　（15：00）	65	55	○
	夕　（21：00）	65	54	○
	夜　（0：00）	55	54	○
B	朝　（7：00）	64	51	○
	昼　（15：00）	65	64	○
	夕　（21：00）	65	53	○
	夜　（0：00）	55	49	○
C	朝　（7：00）	64	40	○
	昼　（15：00）	65	54	○
	夕　（21：00）	65	53	○
	夜　（0：00）	55	53	○
D	朝　（7：00）	64	46	○
	昼　（15：00）	65	54	○
	夕　（21：00）	65	44	○
	夜　（0：00）	55	45	○

（注）基準値はそれぞれ法令の範囲内で自主的に定めた社内規制値を示す。

4.振動測定結果
測定日：2026 年 06 月 12 日
測定場所：敷地内 4 箇所　測定者：近畿分析センター

地点	測定時刻	法令基準（ｄB）	測定値（ｄB）	評価
A	昼間（15：00）	60	36	○
	夜間（21：00）	55	30 以下	○
B	昼間（15：00）	60	38	○
	夜間（21：00）	55	30 以下	○
C	昼間（15：00）	60	44	○
	夜間（21：00）	55	30 以下	○
D	昼間（15：00）	60	38	○
	夜間（21：00）	55	32	○

騒音・振動測定位置
近江鍛工㈱本社工場